

SUPER 耐久シリーズ 2012 第4戦

in

岡山国際サーキット



東 徹次郎

TOHJIRO AZUMA

## まさかのオープニングラップ！！

真夏決戦は悔しいクラッシュによるリタイア・・・。

- ・開催サーキット：岡山国際サーキット（3.703km）
- ・チーム：KOTA RACING&AGE♂AGE♂RACING
- ・マシン：Olive SPA NSX
- ・メンテナンス：TRACY SPORTS
- ・カーナンバー：#70
- ・クラス：ST-3
- ・ドライバー：A NAORYU B 東 徹次郎 C 加納 政樹



## 予選（8月25日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

今回は2DAYということで、一番暑い正午過ぎからの予選となりました。前日の専有走行の最終セッションでは電気系トラブルが出てしまってNEWタイヤでのアタックが出来なかったのが、今回初のちゃんとしたアタックが予選となりました。

前日パワーステアリングのトラブルも出ていただけに心配もありましたが、しっかりと解消されていてコースインして1周目は確認しながらタイヤのグリップを感じ取っていきます。

そして暑いのですぐにアタックに入りましたが、後からコースインして来たマシンと引っかかりそうだったので、2周目はクーリングラップをいれて間隔を整えます。

ちょうどZ2台が来たのでその後ろについてアタックを開始。しかし特にセクター2のタイムが悪く、自分で走っていてもアトウッドコーナーでうまく車を旋回させることが出来ていないのを感じていましたし、立ち上がりでZから離されているのもわかっていました。乗っている感覚が気持ち良くないので、やはりそれに比例してタイムも伸びずクラス7位でBドライバー予選を終えます。

NEWタイヤでのバランスに自分のドライビングを合わせきれませんでした。逆に決勝のコンスタントラップにはCドライバー予選を見ているマシンバランスは安定していたので自信がありました。

**A ドライバー予選タイム：1'43.589（クラス8位）**

**B ドライバー予選タイム：1'42.791（クラス7位）**

**C ドライバー予選タイム：1'44.581（クラス3位）**

**A・B合算順位：クラス8位**

## 決勝（8月26日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

朝のウォームアップ後、ロガーを見ていたらオーバーステアが出ていてアクセルが踏めてないということで、決勝に向けてリアを少しトーインにセットを変更しました。

前半戦は自分がスタートドライバーを担当してきましたが、今回は作戦を変えて NAORYU 選手が初スタートを担当し、真ん中に WTCC や GT にも参戦している加納選手が、そしてラストをロングで自分が走って追い上げるという作戦でした。

スタート前に NAORYU 選手にいろいろアドバイスし、そしてフォーメーションラップが始まってからは自分も無線を用意してもらって常に状況を伝えるようにフォローしていました。

1 コーナーを見守って無事にクリアして行ったので、良かったと思いながらモニターを見ていたら突然、‘後ろからぶつけられて止まった。’という無線が・・・。

モニターの映像では遠くて確認出来ず、無線ではコンクリートウォールに激しく当たってマシンがかなり壊れて戻れないとの報告が。

しかも場内アナウンスではそこに KOTA RACING のもう 1 台、佐々木孝太選手のドライブする S2000 も止まったとの情報が・・・。

ピットは大混乱です。

詳細としては、アトウッドコーナーで 5 号車の前に出た NAORYU 選手でしたが、バックストレートでその 5 号車がアウト側のスペースの無いところに入ってこようとして NSX のリアを引っ掛けたことにより回されて、4 速全開のまま左側のコンクリートウォールにほぼ正面衝突。

そしてその Z は反動で今度はコースを横切るように反対側にスピンしていき、クラストップで来ていた 339 号車 S2000 の横に激突。

そのまま右側のコンクリートウォールに当たってうちの 2 台はオープニングラップで大クラッシュという最悪な終わりとなってしまいました。

**決勝：リタイア (Total:0Laps)**

## 反省

今回、予選での一発のタイムが出なかったことが反省点です。アトウッドコーナーでのロスがなかなか解消出来なかったこと、特にアンダーステア気味のとくにうまく旋回させることが出来ていなかったため、ブレーキのもっと繊細なコントロールとステアリング操作、後半戦もっとレベルを上げていくことが課題です。

あとはマシンのセットアップに対しても勉強になりました。自分のドライビングでのフィーリングは良くてもロガーで見ると意外にアクセルを立ち上がりで開けている量が少なかったり、そういったロガー解析の仕方も良い経験になりました。

また、NAORYU 選手がスタートドライバーを経験したことによって今後作戦の幅も広がることは大きいです。鈴鹿ではコーナリングマシンの特性を活かしてしっかりと予選でタイムを出すことが最大の課題です。





## 最後に

今回も真夏の猛暑のなか、遠方にも関わらずたくさんの方々に応援に来て頂き、本当に有難うございました。

メールやお電話での激励も、非常にモチベーションに繋がりました。

今回はオープニングラップでのクラッシュという非常に残念な結果となってしまいましたが、逆に言えば 200km/h 近い速度でクラッシュしてドライバーがムチ打ち程度の負傷だけで本当に良かったです。

決勝に自信があっただけに本当に悔しい結果ですが、自分自信まだまだ足りない部分も多いので、一つ一つしっかりとレベルアップ出来るよう努力して、鈴鹿・オートポリスとラスト 2 戦は嬉しい結果をご報告出来るよう、今以上に全力で頑張ります。

どうぞ今後とも御支援御声援の程、宜しくお願い致します。

2012 年 8 月 27 日

東 徹次郎

